

令和6年度 第5回学校経営研修会 8/21

8月21日(水)、第5回学校経営研修会が行われました。開会の挨拶では、石田和義 富山県小学校長会会長より、学校経営の見直しや授業改善の推進等についてお話がありました。学校経営の見直しについては、教職員同士の関わり合いを軸に、自らの学校が直面している教育課題を克服しようとする校内文化を醸成することが大切であり、誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちの可能性を引き出す共生社会の実現に向けて、教育をより一層推進することが必要であると話されました。



また、教職員課、教育みらい室小中学校課教育力向上担当、児童生徒支援担当、生涯学習・文化財室家庭成人教育班より指導講話がありました。その後、各部会からの報告・連絡がありました。



後半は、富山市小学校長会より「持続可能な社会の担い手を育む(SDGsの視点を取り入れた学習活動)の推進」というテーマで提案発表がありました。子どもたちが本気になって取り組む体験活動を通して、自分の学びを深め、満足感や達成感をもつことのできる取組について、「地域素材に学ぶ」、「身近なくらしから考える」、「国際的なつながりから考える」の3つの視点から実践紹介

がありました。このような実践を行う上での校長の役割として、教職員の主体性を大切に、学校としての方針を明確にしてカリキュラム・マネジメントを行うことや教員自身が活動の意味や意義を共通理解し、学校として持続可能な取組を目指すこと、コミュニティ・スクールやPTA、関係機関との関わり方について目的を明確にして協働体制をつくる必要があると発表がありました。

その後、4グループに分かれて、富山市小学校長会の提案を基に、各市町での地域素材を活用した取組や課題の情報交換や、地域素材の生かし方や単元構想についての悩み等についても活発な意見交換が行われました。

